

魔弾流株式道場

について

— 最後に、道場について

道場を開いた理由は沢山ある。

元は個人投資をしていて、

自分だけが儲かって、時に損をしてそれで良かった。

だけど、周りを見渡してみると、

株式会社に働いている人、株って言葉は聞いたことある人、はたまた、

株式会社の代表取締役の人ですら、株はよく分からないという人が多い。

“

おいおい、待て待て。

ならブラック企業が存在する理由も、

そこでの労働時間が馬鹿みたいに長く、アホみたいに安い賃金な理由も、

それがこの先にも続こうとしてる理由も、

それを労働者の人どころか、詐欺師も経営者も投資家も政治家も

全く分かってねえじゃねえか！！！！

”

日本って国は戦争に負けて、色々な情報や印象の操作と洗脳を受けて

更には国土や金も奪われ、金融は株式を通して植民地のよう

にほとんど買収されてしまっている。

日本株のほとんどが、日本人より外国人に持たれてしまっていて

株主比率は外国人が8割、9割だ。

日本人が外国人投資家に出し抜かれているのもイラつくから

日本人を株で稼げるようにしたい。日本株で勝てるようにしたい。

メジャーリーグで日本人が活躍してたら嬉しいし、

オリンピックで日本人が優勝すると嬉しいし、

ロビンズカップとかでも日本人が活躍してほしい。

スポーツや産業とかは日本人が勝てば

昔からコロコロとルールを変えられて勝てなくなる。

あれだってかなりイラつく。

でもそれだけ日本人は優秀な民族で世界にとって

驚異的なんだから誇りもある。

だから、商才と侍の心を持った集団を作って、

日本人が本来の日本人らしく

時間と製造と農業、家族や友人の環境に恵まれた民族にしたいと考えた。

魔弾流株式道場では

まずは誰かとの勝ち負けではなく、

昨日の自分との勝負に勝てる人間が増えて欲しい理念の元、道場に入る前よりは全員が賢く、強く、美しくなれるように教室やスクールではなく道場の形をとった。

取引や売買のスタイルも、より再現性を高く、

資金の量に左右されにくいトレードのスタイルを多くし、

基本の型から独自応用の型までを稽古に導入している。

しこんしょうさい

— 士魂高才

侍の心を持ち商売に才を発揮し、



せいほんごろく

— 正範語録

真剣勝負に行住坐臥を置き、

こんぼんりねん

— 根本理念

相手に与え、アテにはせず、

隣人とは協力する

正範語録

実力の差は努力の差
実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差
判断力の差は情報の差
真剣だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつけばかり
本気でするから大抵のことはできる
本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる

十か条根本理念 (10. PRINCIPLES)

1. 『どんな者をも受け入れる共同体である』
(RADICAL INCLUSION)
2. 『与えることを喜びとする』
(GIFTING)
3. 『商業主義とは決別する』
(DECOMMODIFICATION)
4. 『他人の力をあてにしない』
(RADICAL SELF-RELIANCE)
5. 『本来のあなたを表現する』
(RADICAL SELF-EXPRESSION)
6. 『隣人と協力する』
(COMMUNAL EFFORT)
7. 『法に従い、市民としての責任を果たす』
(CIVIC RESPONSIBILITY)
8. 『跡は何も残さない』
(LEAVING NO TRACE)
9. 『積極的に社会に参加する』
(PARTICIPATION)
10. 『「いま」を全力で生きる』
(IMMEDIACY)

こんな日本人が、いや日本人でなくても
そういう人が世界に一人でも増えてほしい
そんな思いを込めて道場を開きました。押忍。

師範 魔弾